

ボランティア通信 7月号



海外ボランティアに興味はありますか？

今回は企業のインターンシップを利用し、ベトナムで日本語教師のボランティアを行っている学生を紹介します。ベトナムでの体験記や気づきを、経済学部経営学科4年・太田さんにお伺いしました。太田さんの話を参考に、海外ボランティアにチャレンジしてみませんか？

◆ベトナムの人々は？◆

2016年2月から4ヶ月、ベトナムで生活をしてインターンを続けてきました。これまでいくつかの国に行ったことはありましたが、長期間滞在し現地の人たちと同じ生活をする、全く違った物が見えてきます。

ベトナムの人はシャイだという印象を持つ日本人が多いようですが、実際はとてもフレンドリーでお世話好きな人が多いです。そして現地の学生と話して感じるベトナム人の特徴は、なんと言っても“素直さ”です。いつも与えられたことは一生懸命こなします。しかし、物事を疑って見たり、自分で考え行動することが苦手だと思います。これからもっと様々なチャンスや模範的なベトナム人のリーダーが必要になると感じます。

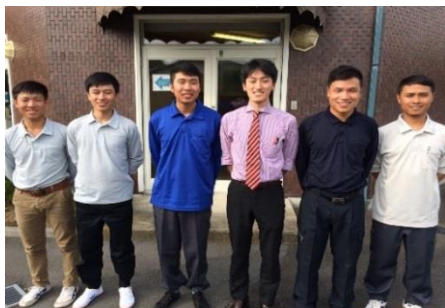


◆ベトナムの生活は？◆

現地の人たちと同じ生活をしていると、新しい発見や驚きがたくさんあります。散髪はシャンプー付きで100円など便利なお店から、一晩の大雨で道路が洪水になり、普段20分のところをタクシーで2時間かかったりと、不便なこともありました。生活をしなければ知ることが出来なかったことがたくさんあり、とても刺激的です。またそのような経験の中から気づく現地の問題などもたくさんあり、その国を理解しその国の人達と何かをやる時には、現地の生活を知ることも重要だと感じています。

◆ベトナムでのボランティアを通して気づいたことは？◆

大学生の間に、何か今しかできないことに挑戦する決心をし、行動してみることは大変価値のあることだと思います。インターンに参加する前はたくさん悩み、参加してからも大変なことが多いです。しかし決心をし、新しい環境に飛び込まなくては



出来なかった貴重な体験や、知ることのできなかつたアジアの人財の魅力を感じることができています。

この4ヶ月で、教育やマネジメント、コンサルティングのような仕事など、本当に様々なことに携わらせてもらいながら、たくさんの物を見て、たくさんの人と話してきました。日本にいてそのまま大学を卒業していたら出来なかった体験であることは間違いありません。

経験に勝る学びの場は無いというのは事実です。どのような形であっても、普段と違う環境に勇気を持って出ていくことで、様々な気づきや学びがあり、自分自身を成長させることができ、何より楽しいと思います。自分自身ももっと色々な経験をしたいと思っています。

第2回ボラCafé開催について

10月中旬頃に、「第2回ボラCafé」を開催予定です！「ボラCafé」とは、これからボランティアに参加したいと思っている学生向けに、ボランティアについて気軽に話せる場を設けています。日時や内容の詳細は、決まり次第お知らせいたします。



上智大学ボランティア・ビューロー(ボランテ)

場所: 2号館1階 学生センター⑧窓口

HP: <http://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/svb>

Mail: VOLUNTEER@CL.SOPHIA.AC.JP

twitter: @SophiaVolante

アジア学院の紹介

アジア学院とは、アジア、アフリカ、太平洋諸国の農村地域から、その土地に根を張り、その土地の人々と共に働く“草の根”の農村指導者を学生として招き、国籍、宗教、民族、習慣、価値観等の違いを認めつつ、公正で平和な社会実現のために、実践的な学びを行っている学校です。アジア学院の運営は、多くの日本人・外国人のボランティアの力により支えられています。

ボランティアも定期的に募集していますので、海外ボランティアに興味がある方は、ご参考にしてみてください。まずは国内で、国際系ボランティアを始めてみませんか？

【参考】

HP: <http://www.ari-edu.org/>

学生センターに、チラシもご用意しております。